[1] (1) 次の計算をしなさい。

$$(7) 7 - 2 \times (-3)$$

$$(1) \left( 18 \times^{2} y - 2 \times \right) \div 2 \times$$

(
$$\frac{3x - 4y}{5} - \frac{x - 3y}{2}$$

$$(\pm)\sqrt{20} - 5\sqrt{5} + \frac{15}{\sqrt{5}}$$

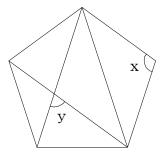
(2) 次の二次方程式を解きなさい。

$$(x - 4)^2 = 26 - 11 \times$$

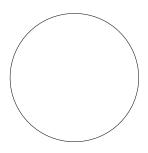
(3) 乗法の公式を利用して、次の計算をしなさい。 ただし、計算の過程は消さずに残しておくこと。

$$1993 \times 2007$$

(4) 正五角形の対角線を下の図のようにひくとき、 $\angle x$ ,  $\angle y$ の大きさを求めなさい。

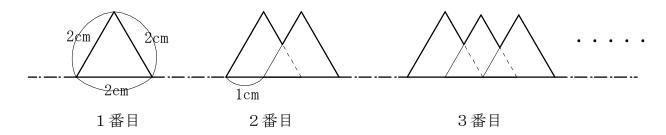


(5) 下の図のように2点A, Bと円があります。この円周上にあって、 2点A, Bから等しい距離にある点をコンパス、定規を使ってすべて 求めなさい。



- [2] 1辺が2cm の正三角形の厚紙があります。直線上に1番目,2番目,三番目・・・と、正三角形どうしを同じ長さずつずらして重ねていき、図形をつくっていきます。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、図形の周囲を太線で表わしてある。
  - (1) [図1] のように、正三角形どうしを1cmずつずらして重ねていき図形をつくるとき、次の問いに答えなさい。

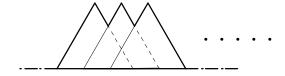
[図1]



- (ア) 4番目の図形の周囲の長さを求めなさい。
- (イ) n番目の図形の周囲の長さを、nを使ってできるだけ簡単な式で表わしなさい。

(2) [図2] のように、正三角形どうしのずらし方を変えて重ねたら、8番目の図形の 周囲の長さが $20\,\mathrm{cm}$  になりました。正三角形どうしを何 $\mathrm{cm}$  ずらして重ねましたか。

[図2]



[3] 次の表は、恐竜博の入場料を表わしたものです。大人と小人あわせて25人のグループが 団体割引を使って入場する予定でしたが、当日大人が1名欠席したため、個人で入場した ところ、合計金額は予定よりも1400円多くかかりました。予定していた大人、小人の 人数をそれぞれx人、y人として、次の問いに答えなさい。

ただし、消費税は入場料に含まれています。

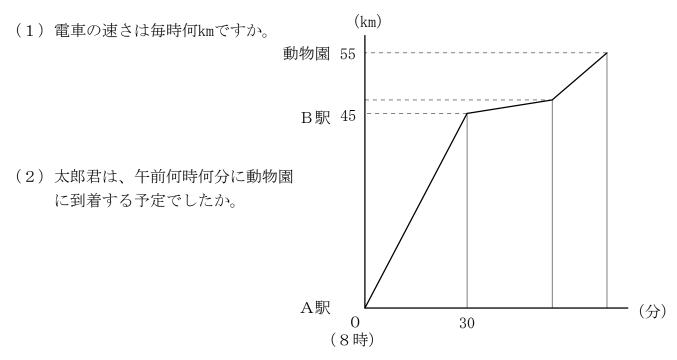
(1) 予定していた 2 5 人が、団体割引を 使って入場するときの合計金額を x, yを使って表わしなさい。

区分		入 場 料
個人	大人	2500円
	小人	1000円
団 体	大人	1人あたり300円引き
(25名以上)	小人	1人あたり100円引き

(2) x, yについての連立方程式をつくりなさい。

(3) (2) の連立方程式を解いて、予定していた大人、小人それぞれの人数を求めなさい。

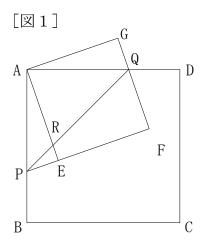
[4] 太郎君は、午前8時にA駅からB駅まで電車に乗り、B駅でタクシーに乗って動物園まで行く予定を立てました。ところが、B駅でタクシーに乗れなかったので、動物園に向かって同じ道を歩きその途中でタクシーに乗り、午前9時12分に動物園に着きました。下の図は、太郎君の動物園までの行き方の様子を示したものです。タクシーの速さを毎時4km、乗り継ぎに要する時間は考えないものとして、次の問いに答えなさい。



(3) 太郎君がA駅を出発してからx分後の、太郎君のA駅からの距離をykmとして、 歩いているときのx, yの関係を式に表わしなさい。 ただし、変域は答えなくてよい。

(4) 太郎君は、タクシーに何km乗っていましたか。

- [5] 次の [図1] のように、正方形ABCDがあり、その内部に点Eをとり正方形AEFGを つくります。辺FEの延長と辺ABの交点をP、辺FGと辺ADの交点をQ、辺AEと 辺QPの交点をRとします。このとき、次の問いに答えなさい。
  - (1)  $\triangle APE \equiv \triangle AQG$ であることを証明しなさい。



(2)  $\angle QAG = 20^{\circ}$  のとき、 $\angle QRA$ の大きさを求めなさい。

(3) 次の [図2] は、直線EFが頂点Dを通ったときのものです。 AB=8 cm, AP=4 cmのとき、  $\triangle FPQ$ の面積を求めなさい。

